



オーケストラ

「EXPOスーパーワールドオーケストラ」

21世紀最初の万博の幕開けにふさわしく、地球規模の交流を果たすグローバルな「開会式」とするために、世界トップランクのオーケストラのコンサートマスター、首席を中心とした俊英たち約100名で特別編成した夢のオーケストラ。

指揮は佐渡 裕、コンサートマスターはウィーンフィルのフォルクハルト・シュトイデが務める。

(メンバーが所属する主なオーケストラ)

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場管弦楽団、ウィーン交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン交響楽団、バイエルン放送交響楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤルフィルハーモニー管弦楽団、サンタチェチリア管弦楽団、スペイン放送交響楽団、フィンランド放送交響楽団、デンマーク国立放送交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、香港フィルハーモニー管弦楽団、韓国交響楽団、上海交響楽団、台北フィルハーモニー管弦楽団、マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団のほか南アフリカや南米のオーケストラ。

日本からは、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団などのメンバーが参加。

(主なメンバー)

ベーター・シュミードル

[ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 / 首席クラリネット奏者]

1965年にウィーン国立歌劇場管弦楽団、68年にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に第1クラリネット奏者として入団、82年より第1首席奏者となる。ソリストとして、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、パリ管弦楽団、NHK交響楽団などと共演。新ウィーン八重奏団、ウィーン木管ソリストのメンバーも務めている。84年ザルツブルク功労金勲章を受賞、91年オーストリア芸術名誉十字勲章を受賞。

フォルクハルト・シュトイデ

[ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 / コンサートマスター]

大学在学中にエスタ国際ヴァイオリン・コンクール第4位入賞、シュポア国際ヴァイオリン・コンクールにて特別賞受賞。また、グスタフ・マーラー・ユース管弦楽団の第一コンサートマスターを務めるなど、オーケストラ奏者としても活躍。94年卒業と同時にウィーンに渡り、コンサートマスターとしてウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団、98年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団、99年よりコンサートマスターを務めている。

ベーター・ベツヒャ

[ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 / 首席ヴィオラ奏者]

ウィーン音楽大学でヴァイオリンとヴィオラを学び、68年同大学を首席で卒業。66年ウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団、73年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に首席奏者として入団。ヴィオラとヴィオラ・ダモレのソリストとして国内外で活躍する一方、アンサンブル・コントラプункトのヴィオラ奏者を約30年間務めている。



ヴェルナー・レーゼ

[ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 / 首席チェロ奏者]

1949年ウィーン音楽高校にてR.クロチャック教授のもとでチェロを学び、55年トンキョンスラー管弦楽団に首席チェロ奏者として入団。59年ウィーン国立歌劇場管弦楽団入団と同時に、ヴェラー弦楽四重奏団を創立。61年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団、87年首席奏者となる。

ハンスイェルク・シェレンベルガー

[ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 / 元ソロオーボエ奏者]

1948年生まれ。65年にドイツの少年コンクール優勝後、ミュンヘン音楽大学在籍中にミュンヘン工科大学で数学も学ぶ。72年ミュンヘン国際音楽コンクール最高位受賞。77年ベルリンフィルのソロオーボエに就任し、2001年まで活動。その後もソリストとしてカラヤン、ジュリーニ、アバド、ムーテレヴァインなどとの共演し、ベルリン音楽大学の教授も務める。

ボリス・ガーリツキー

[ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団 / コンサートマスター]

モスクワ音楽院でユーリ・ヤンケレヴィッチに師事。1982年バガニーニ国際コンクールで優勝。モスクワ・ヴィルトゥオーゾ室内管、リヨン国立管のコンサートマスターを経て、現在はロンドン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスター。ソリストとしてロンドンの主要オーケストラと共演の他、現在、パリ国立高等音楽院教授として若い音楽家の育成に励んでいる。

ウェン=シン・ヤン

[バイエルン放送交響楽団 / 第1ソロチェロ奏者]

幼少よりチェロを始めチューリッヒではクロード・シュタルク、ベルリン音楽大学ではヴォルフガング・ベッチャーに師事。24歳でバイエルン放送交響楽団の第一ソロチェロに就任。1991年ジェノバ国際音楽コンクールに優勝して以来、ソリストとしてマゼール、デイヴィス、サヴァリッシュ、セミヨン・ビシュコフ等と共演。

ダニエル・マツカワ

[フィラデルフィア管弦楽団 / 第1バスーン奏者]

両親共に日本人であるがアメリカで生まれ、学んだ。前任の同オーケストラのソロバスーン奏者があまりに素晴らしい演奏家であったため、長らく空席となっていたが2000年にマツカワが就任した。ダニエルは日本でもサイトウキネンオーケストラの他、PMFではウィーンフィルのシュミードル氏とコンチェルトのソリストとして共演するなど活躍している。

バン・インリン (潘寅林)

[上海交響楽団 / コンサートマスター]

東京都交響楽団、読売日本交響楽団、シドニー交響楽団のコンサートマスターを歴任した後、故郷の上海交響楽団のコンサートマスターに就任。文化革命の中、芸術家として生き抜いた現在の中国アーティストの代表として、指導者としても重要な立場にある。

ユルゲン・シュヴィターリング

[ケープタウン交響楽団 / コンサートマスター]

ドイツで生まれ学んだ後、ヨーロッパ各国でオーケストラメンバー、室内楽奏者として活躍の後、ケープタウン交響楽団のコンサートマスターに就任。オーケストラ活動の他、弦楽四重奏団を主宰、ソロ活動、そして全国の若い音楽家の指導者として南アフリカの代表的なアーティストとして活動している。

EXPOスーパーワールドオーケストラは、開会式翌日(3/25)EXPOドームにおいて開幕を記念するコンサートを行います。